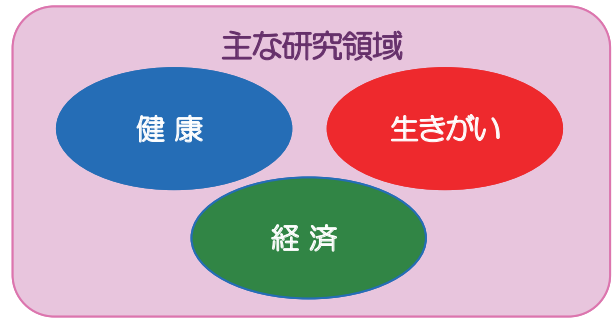


財団の目的と事業・研究の領域

三菱グループにより設立された当財団は、調査・研究活動を通じて高齢社会の保健、医療、福祉等の課題解決をめざし、公益に寄与しています。



主な研究・調査活動 (2020年度)

〔ダイヤ財団主管研究〕

- 多面的な QOL 指標を含む科学的介護のデータベース構築
- 介護予防系事業に関するエビデンスを蓄積する共同研究
- 訪問介護事業所向けスマホアプリの効果検証に関する研究
- シルバー大学校受講生の QOL 向上に関する共同研究事業
- シルバー人材センター会員の効果的な健康管理に関する共同研究事業
- シルバー人材センターの就業における事故に関する研究事業
- こころの健康づくりにおける自主活動を継続するための支援のあり方に関する研究
- 「ハッピープログラム」の介入が軽度要介護高齢者の心身の健康に及ぼす影響
- 都市高齢者の社会関係周縁部に関する研究
- 高齢期の社会的自立維持に ICT の果たす役割に関する研究
- ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究
- 介護と就労に関する調査

公益
目的
事業

主な普及・広報活動

講演会・シンポジウム
等イベント開催

研究論文・研究報告書・
学会発表

機関誌『Dia News』・
調査報告書等の発行

社会老年学文献データ
ベース「DiaL」の提供

うつ予防プログラム
「ハッピープログラム」

シニアが楽しむエアロ
ビック「ダイヤビック」

収
益
事
業
等

調査研究を通じて得られた知見、技術等を活用して行う受託事業及び高齢社会の諸問題に関するテキスト、教材等の有償頒布等

賛助会員関連団体が行う高齢者による社会貢献活動に対する協力及び支援